

鼓ヶ浦 (つづみがうら)

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校

TEL:386-5852 FAX:386-4663

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/jhtsudumigaura/>

めざす学校像

「来てよかった、
明日も来たい」
と思う学校

2学期 始業式にあたって

42日間の夏休みが終わりました。今年は雨の多い8月でしたが、終盤は二度目の梅雨明けのごとく暑い日が戻ってきました。休み中大きな事故がなかった事は大変良かったと思いますし、生徒のみなさんは、1学期に理解が不十分であった学習内容を復習するなど、有意義な休みにしてくれたことと思います。

いよいよ今日から2学期がスタートします。1学期終業式で、「2学期の始業式には全員が元気に集まってほしい」と話しましたが、新型コロナウイルス感染症が急拡大し、本県に緊急事態宣言が発出されている中での始業式は、分散登校となってしまいました。また、来週は、自宅でのオンライン授業となります。全員が顔をそろえて2学期のスタートをすることができず残念ではありますが、今は我慢の時です。全員で感染防止対策を徹底し、学校が通常通りに戻る日に備えましょう。

2学期は、学校生活の中で一番長い学期です。体育祭や文化祭などの行事もあり、一年のうちで最も学校が活気づくときであり、みなさん一人ひとりにとっては、大きく成長する時期でもあります。

「花はただ咲く ただひたすらに」という、相田みつをさんの詩があります。この後「ただになれない人間のわたし」と続きます。花は誰も見ていなくても、美しくひたすらに咲いています。それと比較して私たち人間が、正しく生きることの難しさを表しているとも言えます。この2学期、1年生は学校生活にも慣れ、授業の内容も徐々に難しくなります。2年生は、3年生から伝承した部活動や学校・学年行事を通して自分たちで考えることを学び、3年生は最後の行事に学校の中心として取り組み、自分の進路を切り拓く時期でもあります。

まだまだ暑さは続くと思いますが、気持ちと体を切り替え、学校や学級、個人の目標が達成できるよう、そして「花のひたすらさ」に負けないよう、ひたむきに日々の努力を惜しまないで過ごしてほしいと願っています。

保護者の皆様へお願い

- マスク着用、手洗いの励行、換気、毎日の検温、食事、十分な睡眠など基本的な感染防止対策を引き続きお願いします。また、所用で外出する際には、「不要不急の寄り道はしない」「密な場所は避ける」などのご指導もお願いします。
- 子どもさんに発熱等風邪症状がある場合は、自宅での休養を徹底してください。また、同居のご家族に同様の症状がみられる場合も登校を控えるようご協力ください。
- 子どもさんが登校後、体調不良を訴えた場合は、原則、早退の対応をします。携帯番号や職場の番号など、必ず連絡のつく連絡先をお知らせください。

避難訓練 ～大震災への対応～

9月1日は、「防災の日」です。そして、この日を含む一週間を「防災週間」として防災訓練などが全国的に実施されるのです。なぜ、この時期に定められたかということ、1923年9月1日に発生した関東大震災にちなんだものです。また、この時期は、台風のシーズンとも重なっていて、地震、台風、豪雨、洪水、津波、等の災害についての認識を深めるとともに、これらに対する備えを行うことで、災害の未然防止と被害の軽減を図るというねらいがあります。

また、今年で東日本大震災から10年となります。東日本大震災で「釜石の奇跡」と言われた宮城県釜石市立釜石小学校の元校長、渡邊真龍先生は、次のように話されています。

『巨大な津波に襲われても釜石小学校と釜石中学校の在校児童・生徒の99.8%が助かったので「釜石の奇跡」と呼ばれたのですが、それはすでに下校して学校以外にもいた子どもたちが、それぞれの判断で逃げ、友達、お年寄り、みんなを高台に導いたからです。日ごろの徹底した防災教育で、子どもたち自身がその場で判断し行動に移すという心が育まれていたことが大きな要因だと言えます。』

釜石小学校は、津波の発生に対する対応で、「津波てんでんこ」という言葉で、子どもの行動を促しました。津波が発生したら、どこにいても自分の判断でとにかく高い所に避難する、という意味です。本校生徒には、何を伝えるべきでしょうか。

東海・東南海地震の発生が確実といわれていますが、今後生徒たちには、さまざまな状況下で発生する地震の可能性や、その時の対応方法、連絡手段がなくなった時の行動、家族との約束の徹底等を、日ごろから想像力をたくましくして考えさせることが必要だと思います。

本校でも、本日、避難訓練を実施する予定でしたが、分散登校のため延期しました。あの3.11の日に何が起こったかをもう一度思い起こし、地震が発生してもパニックを起こさず、冷静に避難行動ができるよう訓練を重ねていきたいと考えています。

ご家庭でも、いざという場合のお話し合いをぜひともお願いしたいと思います。